

	福島大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理工学群（第1年次:180） 大学院共生システム理工学研究科（M:60 D:6）
沿 革	昭和24（1949）年 福島大学設置 平成16（2004）年 理工学群設置 平成20（2008）年 大学院共生システム理工学研究科修士課程設置 平成22（2010）年 大学院共生システム理工学研究科博士後期課程設置
設置目的等	<p>平成16年、共生科学の確立、文理融合型の科学技術の担い手の育成、持続的かつ安全なエネルギー供給についての安全工学の観点からの教育研究、福島県の地域経済の活性化と産業の育成・振興、福島における自然科学系学部の進学希望者のニーズへの対応等を目的に、福島大学に理工学群が設置された。</p> <p>平成20年に、学士教育を更に専門的に深化させ、新しいシステム科学を構築、発展、継承できる人材と課題解決に実践的に貢献できる高度専門職業人を育成することを目的に、大学院共生システム理工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成22年に、実践的に研究能力を培うことができる研究プロジェクト型指導體制で、実践的で、幅の広い、研究能力の人材養成を行うことを目的に、共生システム理工学研究科博士後期課程が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>福島大学においては、理学・工学・人文社会科学を融合した「人・産業・環境の共生をめざす科学と技術」の創生・発展を目指しており、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 福島県をはじめとする周辺地域の工学教育の機会均等に寄与し、大学院博士前期課程では、経営マインドと環境マインドを併せ持ち、分野横断的な知識と研究経験を有する高度専門職業人の育成の役割を果たす。また、大学院博士後期課程では、幅の広い研究・開発・企画能力により、大企業に限らず地域の企業でも活躍できる研究者・高度専門職業人の育成の役割を果たす。</p> <p>○ 文理融合型カリキュラムの実施及び実践的研究能力の育成に寄与する研究教育支援事業など特色ある教育を進めてきた実績を生</p>

かし、国際的水準を踏まえた教育改革を進め、グローバルに活躍できる理工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。

- 人間支援、物質・エネルギー、環境科学分野をはじめとする理工学の諸分野の研究を推進する。
- 地域密着型・地域貢献型の研究プロジェクトを推進し、それら研究の成果等を多様な形で地域を含めた社会に還元することにより、貢献を果たす。
- 原発事故発生県の国立大学法人として、福島県復興計画の重点プロジェクトである「再生可能エネルギー」、「環境保全」、「医療関連産業集積」に関連する研究に加えて、事故が環境に与える影響の科学的解明をめざす環境放射能分野を核とした学術研究を推進するとともに、それらの研究を通じた人材育成を行う。
- 社会構造の変化や科学技術の高度化を踏まえて、再生可能エネルギーなどの専門教育プログラムによる大学院講義の一般公開や技術者向け講習会開催の実績を生かし、社会人の学び直しを推進することにより、地域及び産業界の要請に応える。